

11001製鉄・製鋼・圧延業における死傷災害事例(最大99事例まで) (2020年)

No	年	月	発 生 時	死傷災害事例	年 齢	事 故 の 型	起因物 (小)	労働 者規 模
1	2020	1	9 ～ 10	メッキ工場で各設備メンテを行うため作業を実施中、マンホールを開放した約10秒後に炉内で爆発（推定では水素爆発）が発生した。その際、ポット炉内の溶融亜鉛が爆風で押し出され広範囲に飛散し、飛散した溶融亜鉛を浴び顔、背中以外の大部分に熱傷を負った。	31	14	341	500 ～ 999
2	2020	1	9 ～ 10	メッキ工場で各設備メンテを行うため作業を実施中、マンホールを開放した約10秒後に炉内で爆発（推定では水素爆発）が発生した。その際、別の場所でマンホール内のサポートロールを点検するため上から見ていたときに爆風を受け右顔面、首に熱傷を負った。	48	14	341	500 ～ 999
3	2020	1	9 ～ 10	メッキ工場で各設備メンテを行うため作業を実施中、マンホールを開放した約10秒後に炉内で爆発（推定では水素爆発）が発生した。その際、ポット炉内の溶融亜鉛が爆風で押し出され広範囲に飛散し、飛散した溶融亜鉛を浴び左頬、左首、左膝に熱傷を負った。	41	11	341	500 ～ 999
4	2020	1	9 ～ 10	トラブル処置で、ロールスタンド内でマンドレルロッドを引き抜くために、パイプレンチを左手で保持し、大ハンマーでパイプレンチの側面を叩いてマンドレルロッドを引き抜こうとしたところ、左手を強打して、左環指不全切断、中節骨を折り、左小指挫滅創を負った。	35	6	364	1000 ～ 9999
			14	上司から、度々外見をからかう、資格試験の受験前にプレッ				100

13	2020	3	13 ～ 14	寮で昼食後、トレイを持って階段を下りていた際、最後の1段を踏み外して右足をひねり踝を骨折した。	29	1	413	500 ～ 999
14	2020	4	20 ～ 21	工場設備集綿ファン（以下DDF）の内部清掃終了後、DDF点検口の蓋を両腕にかかえて取り付けようと移動した。その際、作業で使い地面に置いてあったかき出し棒に足を乗せて、右足を滑らせて転倒し、右足首をひねって右足関節外果骨を折った。	56	2	379	30～ 49
15	2020	4	14 ～ 15	転炉ダーツフレームをチェーンブロックにて吊り養生中、フレームが傾き墜落した。その際、骨盤骨折（ヒビ）および左足膝裏筋に挫滅を負った。	43	1	361	1～9
16	2020	4	22 ～ 23	電気炉炉前作業床で鋳型サンプリング作業中、サンプル鋳型を右手に持ち換えて、サンプル切断機まで移動している際、火傷したような感覚があった。皮手袋を脱ぎ水で冷却しているとき、左示指化学熱傷、左示指指神経断裂を負った。	24	11	519	100 ～ 299
17	2020	6	11 ～ 12	作業場内を移動した際に、鉄板ピースの入った缶につまずいて転倒し、左肘に切傷を負い、右足甲にヒビが入った。	79	2	417	1～9
18	2020	6	10 ～ 11	工場屋根上にて作業員2名で雨樋の清掃作業中、被災者は応援として清掃作業に加わった。フックをつなぐ場所等がなかったため、安全帯の未装着状態で作業を行い、終了後ゴンドラに乗り込もうとした際、屋根スレートを踏み抜き高さ9mの位置から落下し、第一腰椎を破裂骨折した。	53	1	415	100 ～ 299
19	2020	7	7 ～ 8	製鋼工場電気炉でスクラップ溶解作業中、炉内での水漏れを発見し、水冷パネルの給水バルブ閉止をして作業に着手し、完了直後に炉内から吹き出した熱、風に煽られ、両下肢、右上腕に火傷を負った。	33	11	341	300 ～ 499
			15	ホークリフトを鍛造工場裏の空地に移動させ、運転席が雨で濡れないようにビニールシートを被せようとした。ホークリフトのス				

20	2020	7	～	16	テップに立ってシートを広げていたとき、安全靴を着用していたが、雨のため足を踏み外して約80cmの高さから着地した。その際、雑草に隠れていた鍛造治具を踏み、右踵を骨折した。	41	1	222	10～ 29
21	2020	7	～	13 14	材料を金型に入れ成型中、材料が型に入り取り出す際、プレスを起動し、右手が挟まれた。このとき、右手を切断した。	48	7	154	10～ 29
22	2020	7	～	10 11	工場で、脚立の上で整理作業中、バランスを崩して転倒し、両膝をつき、右膝骨折、左膝切傷を負った。	50	1	371	1～9
23	2020	7	～	12 13	鍛造工場で、炉を加熱し鍛造中、上型取付部をゆっくり下げようとした際、普通のスピードで下りてきたため、金型に右手が挟まれ、右手人差し指と中指第一関節を切断した。	26	7	154	30～ 49
24	2020	7	～	5 6	CO製造設備ドレンポットのレベルゲージ整備のため、安全処置（ガス遮断弁の2重切+窒素パージ+CO検知器による確認）を実施したあと、ドレンポット側のレベルゲージ取出弁（上下2個）の取替作業に着手し、下側のレベルゲージ取出弁の取替作業中にCOガス中毒となった。	63	12	514	1000 ～ 9999
25	2020	7	～	11 12	面取機でシャフトの左右の端面を削っていた際、片方のバーの板がシャフトの上に降りたので取り除く作業をしていたところ、回転刃によってシャフトが暴れ、そのシャフトが左手に当たって中指を骨折した。	38	3	159	30～ 49
26	2020	7	～	14 15	倉庫でコイルの積荷作業中、コイル（1本約500kg）をハッカーにかけて、トラックに積み込んでいた際、4本の内1本のコイルの引っ掛かりが十分でなかったため、コイルが滑って左手に接触し、手首を骨折して親指を損傷した。	57	6	372	10～ 29
27	2020	8	～	11	鉄筋切断作業で、製品移動のためにピンを抜く際、急性腰痛を発生した。	41	19	521	100 ～

			12						299
28	2020	8	8 ～ 9	パイプの溶接作業中、頭を上げ移動した際、ビードワインダーの外巻が緩み、数巻がヘルメット上から首に落下した。このとき、頸部に熱傷を負った。	34	11	521	～ 299	
29	2020	8	20 ～ 21	工場で、材料を投入し、2袋目を取るため後ろを振り向いた際、投入口から高温スラグが飛散し体に掛かった。このとき、左下肢、右下肢、左手に熱傷を負った。	19	11	341	1000 ～ 9999	
30	2020	8	23 ～ 24	検査台に仮置きしてあった成品を仕掛枠に戻すため、成品を玉掛けし、検査台の仕掛枠に移動した。材料が着地し、スリングが緩んだため、スリングをフックから外そうと移動した際、エア配管用のカバーにつまづき転倒し、右肩を骨折した。	41	2	391	1000 ～ 9999	
31	2020	9	12 ～ 13	バーラインHES端尺処理作業中、足下が滑り、テーブル内に足が入り、材料と接触した。その際、左足・脛・腸脛に火傷を負った。	22	11	715	1000 ～ 9999	
32	2020	9	21 ～ 22	無線機でクレーンを操作し、切り直し品2束（重量約6.4t）を置き場へ搬送したとき、玉掛けワイヤーが切り直し品と置き場レールに挟まって抜けなくなった。切り直し品をずらすためにクレーン操作を行った際に、切り直し品が被災者側に振れ、切り直し品と背後の製品山リン木で左太腿に裂傷、筋肉断裂を負った。	30	7	211	100 ～ 299	
33	2020	9	15 ～ 16	岸壁で、クレーン走行ブレーキのテスト中、つまづき転倒し、走行サドルとG?の隙間に左膝が挟まれ、左上肢デグロービングインジャリー、左手関節亜脱臼を負った。	69	2	211	50～ 99	
34	2020	10	10 ～ 11	倉庫で、番線をペンチで切断中、番線が跳ね左目に当たり、左目眼球破裂を負った。	64	4	521	10～ 29	
35	2020	10	15 ～	工場内の太物32号機白線置き場付近で、吊り秤に注意喚起のシールを貼付していたところ、他の作業者がもたせ掛けた白線が倒れ	49	7	521	50～	

			16	てきて両足を挟まれ、両足に打撲傷を負い、左足は骨折・捻挫を負った。				99
36	2020	10	16 17	工場内で製品を玉掛けするため、製品に上ったところ、バランスを崩して倒れそうになり、約2mの高さから飛び降りて着地した際、右足踵を骨折した。	49	3	611	10～ 29
37	2020	11	8 9	中間倉庫のより作業枠で製品の枠入れ作業中に、ワイヤーを抜いた際、若干足下が不安定になり、腰を落としたところ、背後にあった枠のスタクションに股間を強打し、尿道損傷を負った。	40	3	419	50～ 99
38	2020	11	15 16	加工場内にて手曲げ機でD10ミリフックを曲げている最中、左手指を巻き込まれ、左示指不全切、左中指挫創、左環指・左小指中筋骨開放骨折を負った。	77	7	159	1～9
39	2020	11	15 16	2号伸線機の階段を下りて地面に右足を着けたとき、外側にぐねて骨折した。	45	19	413	10～ 29
40	2020	11	9 10	棒線工場線材Bライン仕上げフロアで、太さ計の不具合調査のため、太さ計本体をオフライン位置へ移動させるようとしたところ、ロックピンが掛かっていて動かなかった。そのため、操作電源をオフにして、被災者がロックピンを抜いたときに、太さ測本体が動き出した。その際、バランスを崩して転倒し、後退してきた太さ計本体と架台の間に右足脛が挟まれて開放骨折した。	38	7	169	500 ～ 999
41	2020	11	16 17	工場内で、5分程度2m以内マスクなしで接触している状況があり、発熱があつて3日後にPCR検査を実施したところ、陽性が判明し、新型コロナウイルス感染症を発症した。	46	90	911	100 ～ 299
42	2020	11	16 17	新型コロナウイルス感染症に感染した従業員と、工場内で15～20分、2m以内、マスクなしで接触している状況があり、濃厚接触者と考えられ、発熱もあり、PCR検査を実施したところ、陽性判定となり、新型コロナウイルス感染症による肺炎を発症した。	42	90	911	100 ～ 299

43	2020	11	12 ～ 13	出鋼口点検で、電気炉の傾斜角を+1度に傾斜した後、スクラップの自動搬入ボタンを押した。モニターを確認した班長が点検口付近に被災者がまだいることを確認し、現場に行った作業者は点検蓋に挟まれている被災者を発見し、被災者は自力で操作室に戻った。その際、右足大腿膝小僧火傷2度、尻から大腿内側火傷3度、左足大腿上面全体火傷2~3度他を負った。	40	11	341	100 ～ 299
44	2020	12	10 ～ 11	鉄粉出荷場内で、2段積みの下段フレコンの吊紐が倒れており、立てるため、吊紐を持ち上げたままフォークリフトの爪が入ってきて、右手を離そうとしたが、2本の吊紐間に手袋の先端に引っ掛かり、右手母指を切断した。	62	7	222	50～ 99

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害事例\(最大99事例まで\) \(2020年\)](#)に戻る。